

美しい春画

—北斎・歌麿、交歓の競艶—



喜多川歌麿 「夏夜のたのしみ」(部分) 個人蔵 [通期展示]

The Beauty of Shunga
—Hokusai and Utamaro: Exchange and Competition

2024. 9.7 (土) ~ 11.24 (日)

前期 9.7 (土) ~ 10.14 (月・祝) 後期 10.16 (水) ~ 11.24 (日)

開館時間 | 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日 | 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
入館料 | 2,200円(前売り2,000円) **18歳未満は入場禁止** ※会場にて年齢の分かるものをご提示いただく場合があります
※団体・学生・障がい者などの割引はありません
※チケット販売: チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、CNプレイガイド、楽天チケット、セブンチケット(前売り券の販売は8月7日から9月6日まで)

主催 | 細見美術館、朝日新聞社、京都新聞 特別協力 | 角匠 協力 | カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
会場 | 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 TEL 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>
※会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報はWEBサイトをご覧ください。

細見美術館

The Beauty of Shunga

—Hokusai and Utamaro: Exchange and Competition

美しい春画

—北斎・歌麿、交歓の競艶—

人間の性愛を描いた絵画「春画」は、男女の姿がおおらかに、時にユーモアをもって描かれています。江戸時代には「笑い絵」とも呼ばれ、浮世絵の普及とともに、大名から庶民まで貴賤を問わず、男女対等に楽しまれました。

本展は、版画・版本の作品に加え、特に1点ものである「肉筆春画」に焦点をあて、これまで書籍などでの存在は知られながらも、美術館での展示が叶わなかった作品を中心に紹介します。中でも、葛飾北斎の幻の名品「肉筆浪千鳥」は、1976年にパリで展示されて以来、長らく公開されず、今回、日本の美術館では初の展示となります。

春画は個人の密かな楽しみというこれまでの常識を覆す喜多川歌麿の大作や、海外から里帰りを果たした作品約20件を含む、精選された美しい春画約70件を心ゆくまでご堪能ください。

※巡回予定はありません。

喜多川歌麿「階下の秘戯」(部分)
似鳥美術館蔵(通期展示)

葛飾北斎「肉筆浪千鳥」より(部分)
個人蔵(通期展示)

講演会

※有料・事前申込制

会場＝京都市勧業館みやこめッセ 大会議室

- 「春画鑑賞空間の古今」 9月8日(日)
講師 樋口一貴氏(十文字学園女子大学 教授)
- 「春画の見方、味わい方」 10月27日(日)
講師 山本ゆかり氏(多摩美術大学 講師、川崎・砂子の里資料館 学芸員)

※詳細はWEBサイトをご覧ください。

次回展予告

琳派展24 抱一に捧ぐ—花ひらく雨華庵の絵師たち—
会期＝2024年12月7日(土)～2025年2月2日(日)

[交通のご案内] ・市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分
・市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分
・地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分
ご来館には公共交通機関をご利用ください。

細見美術館

